

森に学ぶ。香北中学校林業教室

協力：香美森林組合

令和7年10月14日（火）、香美市立香北中学校の1年生を対象に林業教室が実施されました。講師は香美森林組合の田辺さん。チェーンソーの実演など、普段の生活ではなかなか触れることのない体験を行う、この林業教室は香北中学校では、毎年恒例の取組になっています。

授業では、林業にはたくさんの工程があり、木材として利用できるまでに約50年の期間が必要であること、また、木を伐った後はまた植えて育てていく循環する産業であることを学びました。

他にも、適切に管理された健康な森林は、雨水を貯留し土砂流出や洪水を緩和するほか、美しい水を育み、川の流量を安定させる機能を持っていることなどを教えていただきました。

人工林に多いスギとヒノキの見分け方の話では、教室のカーテンを開けて、すぐ近くに見える森を実際に見てお勉強。豊かな森林が身近にある、香北中学校ならではのひとコマでした。

このような林業教室をきっかけに、一人でも多くの若い世代が、森や水の大切さを考え、将来にわたり関わってくれることを願っています。

